

チェックシートの訂正が必要！！

会社は、5月27日に修繕作業に関わる項目のチェックシートに関する作業指示を掲出しました。

内容は、修繕作業のチェックシートが追加されたもので、作業事にチェック表を提出しなければなりません。5月28日からの実施なのに接地ブラシや油面計などに使っている小さなトルクのトルクレンチが無いため、先日は間違えて違うトルクレンチを使用し不具合が発生しました。その原因は、チェックシートだけを用意して必要なトルクレンチの準備をしていなかったからです。また、チェックシート通りの作業は今の交番検査の工程では無理があります。このチェックシートは、今の交番検査には合っていないという事です。よってチェックシートの見直しが必要です。

私たちはチェックシートを正式に訂正せず、無理やり現場社員に押し付けることには反対です。会社は、現場の社員の声を聞きゆとりある作業が出来るようにしていく事が必要不可欠です。

6月期の総点呼で、所長は1月末のパンタグラフの落失事故からの対策であるといっています。しかし、チェックシートだけでは対策になるのでしょうか？十分な教育とゆとりある作業が出来る職場環境が必要です。

今回の不十分なチェックシートでわかるように、ただ「対策を出した」という形を作らなかったのではないのでしょうか？！チェックシートに追われて、ゆとりある作業が出来なくなるとは本末転倒です。それで車両の安全は守られるのでしょうか？

私たちJR東海労大交両分会は、現場に合ったチェックシートに訂正し、チェックシートに追われることのない作業時間の確保を要求します。

社員の皆さん！！

ゆとりある職場環境をつくるために、疑問に思ったら声を上げて安全で余裕のある職場にしていきましょう！